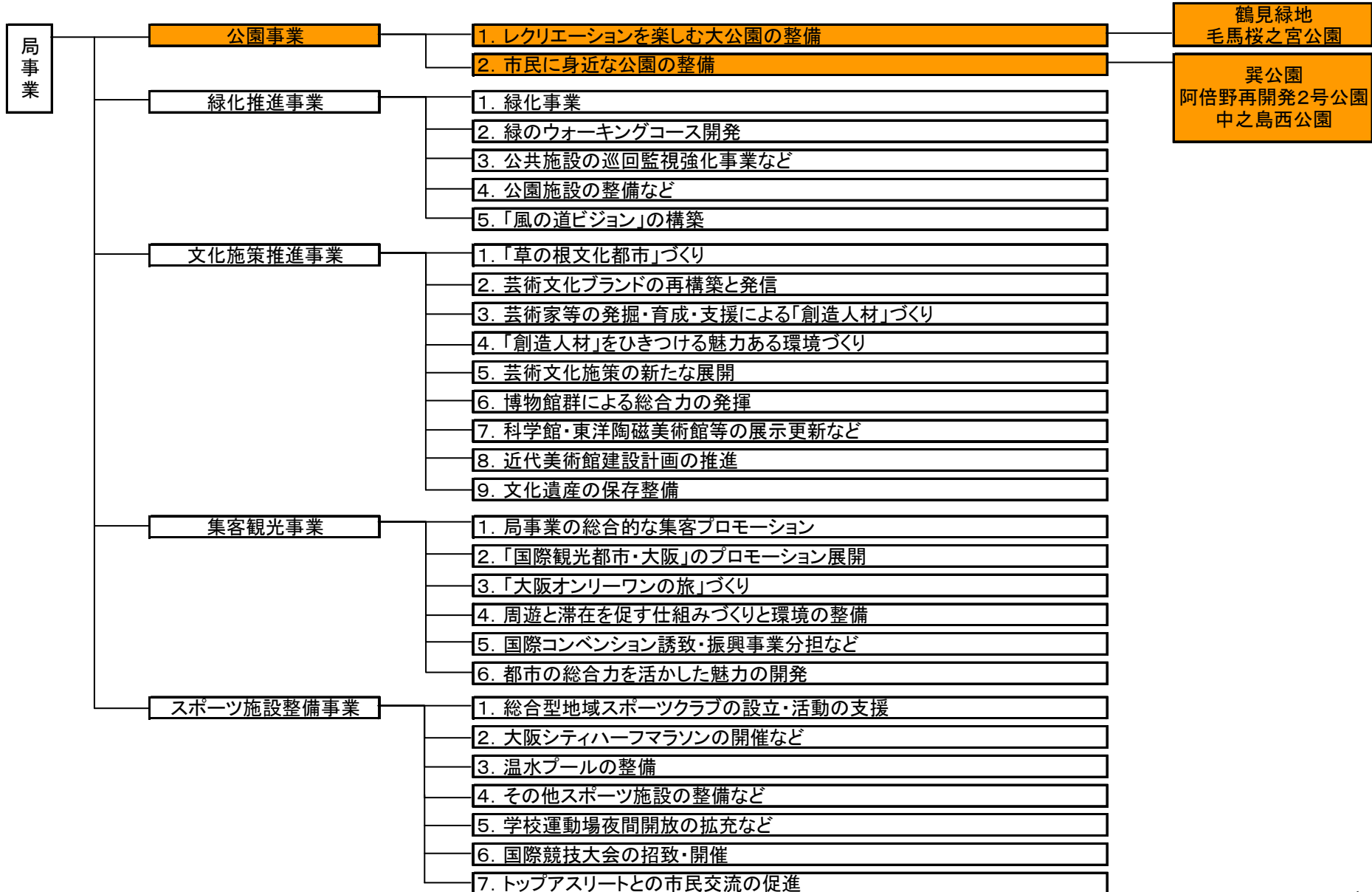


都市公園事業 実施状況説明資料

- ・鶴見緑地
- ・毛馬桜之宮公園
- ・中之島西公園
- ・巽公園
- ・阿倍野再開発2号公園

平成20年11月
ゆとりとみどり振興局

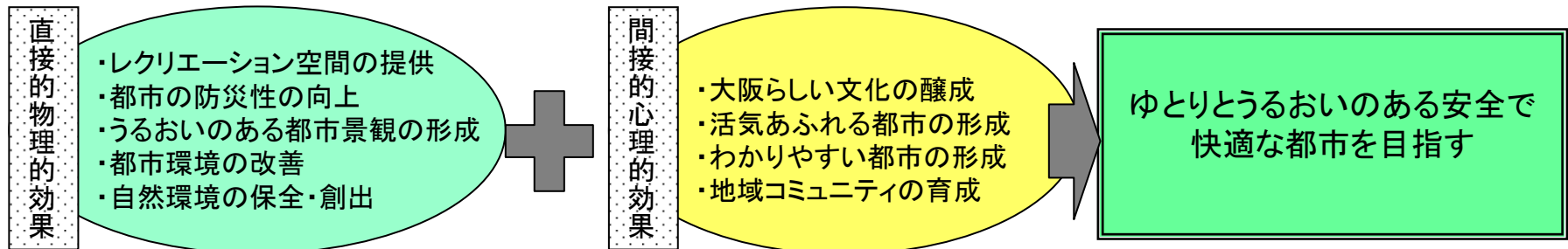
ゆとりとみどり振興局の主要事業



都市公園事業の目的

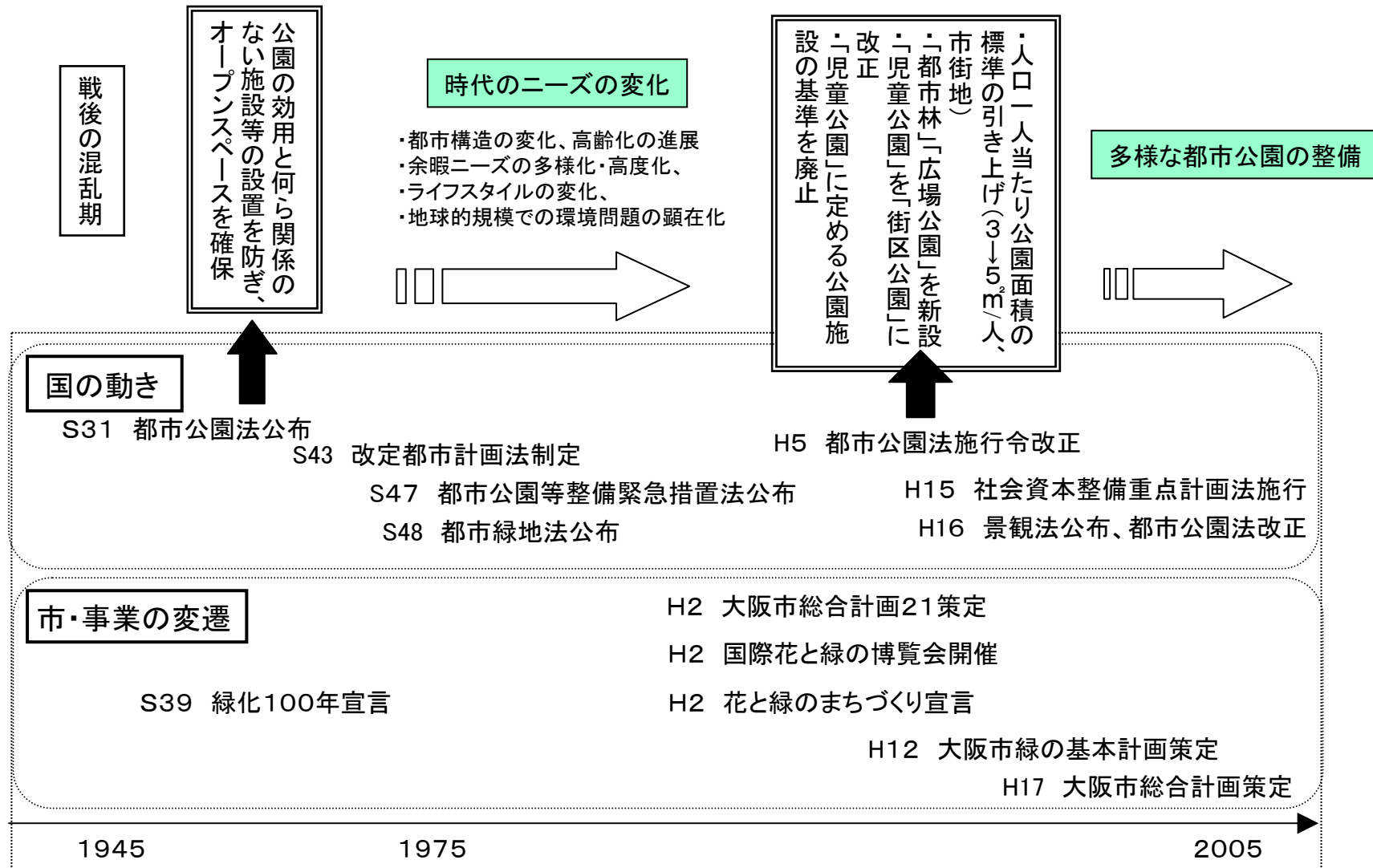
緑豊かな公園は、身近な自然を感じることができ、人々の心にゆとりとうるおいを与え、安全で快適な都市生活をいとなむために必要な社会資本である。

「緑の基本計画(H12)」における緑の効果



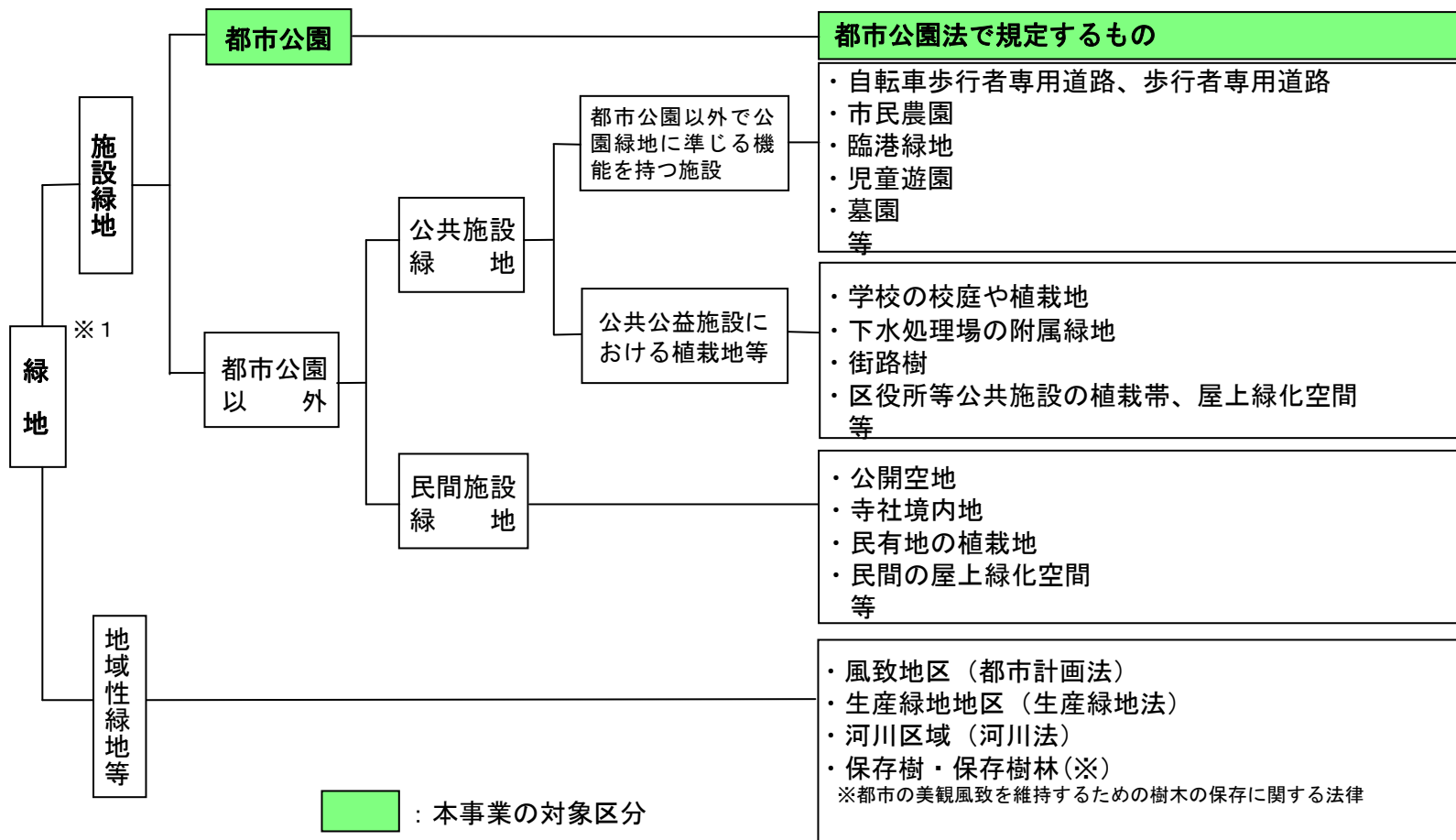
事業の変遷

戦後の混乱期を経て、都市公園は、量的確保の拡大から、時代のニーズに適応した多様なあり方へと変化している



大阪市における緑地の分類

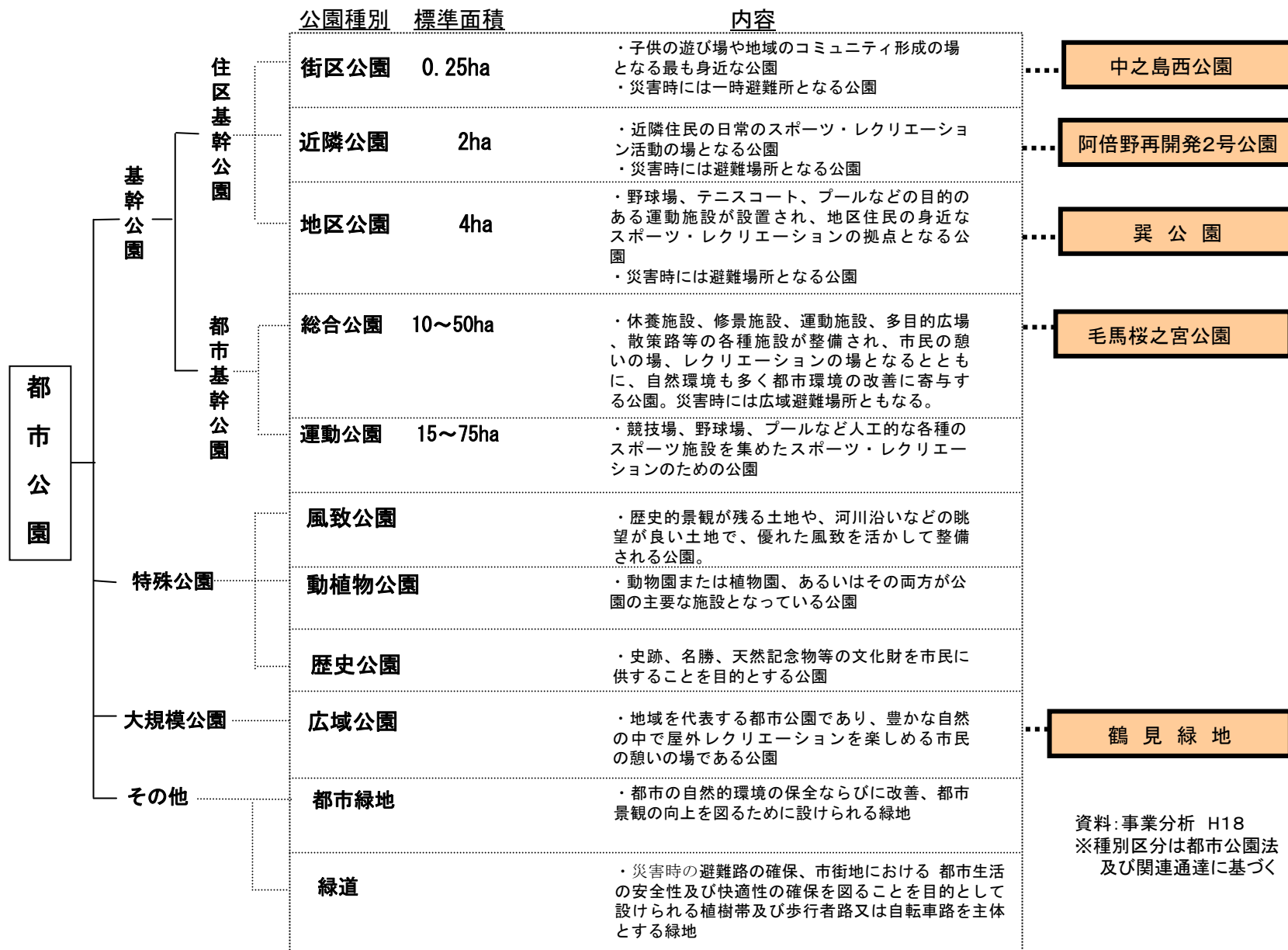
都市公園とは、国や地方公共団体が設置する施設緑地のうち、都市公園法により管理する公園・緑地である。



※1: 緑地: 都市公園のみならず社寺境内地等の空地の多い施設、農耕地、山林、河川、水面等のオープンスペースなど良好な自然環境を形成しているもの

都市公園の種別※

都市公園は大きく分けて、市民にとって身近な住区基幹公園と、より大規模な都市基幹公園等に分かれる。

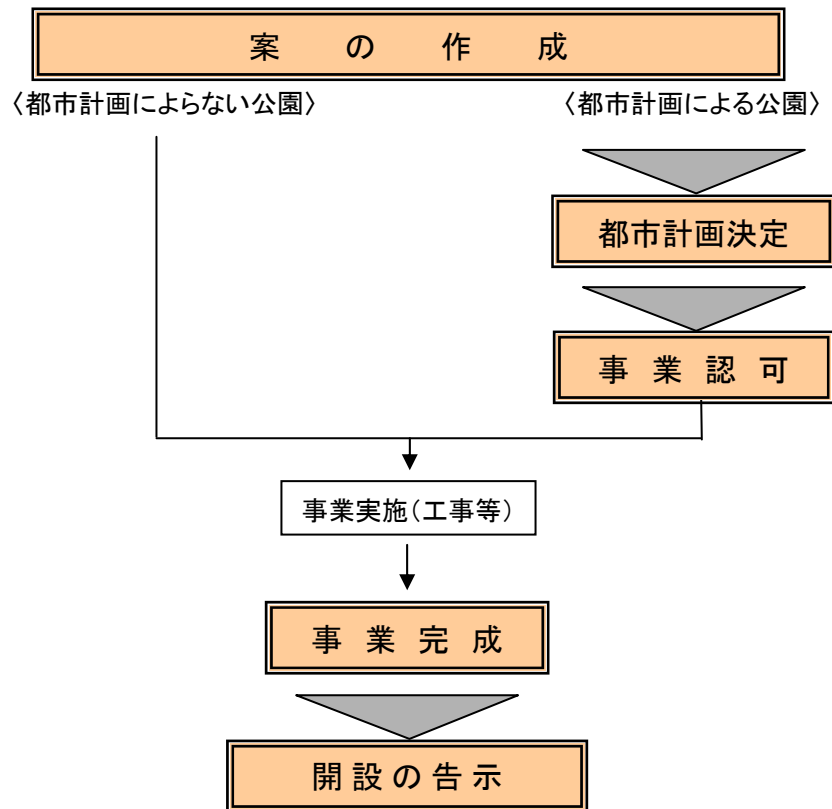


資料:事業分析 H18
 ※種別区分は都市公園法及び関連通達に基づく

都市公園の計画案策定から整備までの流れ

都市公園の整備については、都市計画法により都市計画決定され、事業認可を取得し、事業を実施するものと、都市計画決定を経ず事業を実施するものがある。

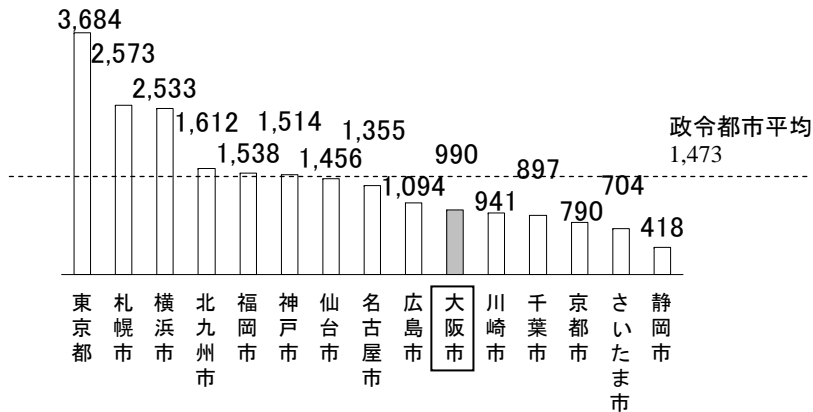
《都市公園整備の流れ》



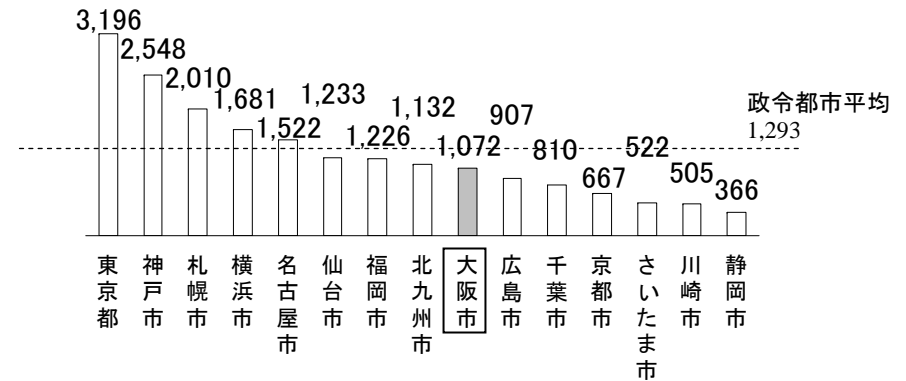
都市公園等※1整備状況の他都市比較※2

都市公園等の箇所数や面積、市民1人あたりの都市公園等面積は、ともに他の政令指定都市と比較して少なく、平均以下である。

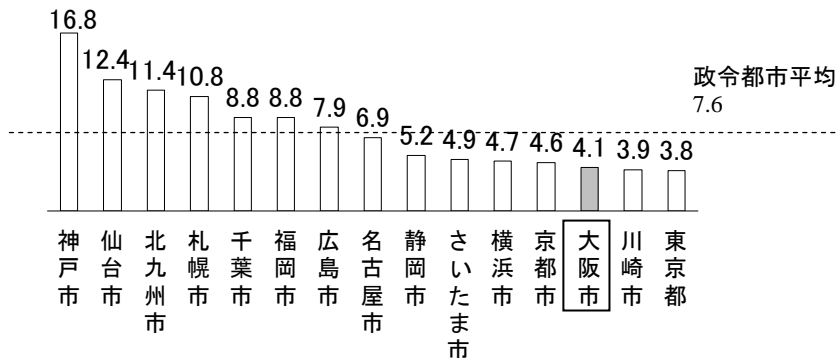
都市公園等箇所数（単位：箇所）



都市公園等面積（単位：ha）



市民1人あたりの都市公園等面積（単位：m²/人）



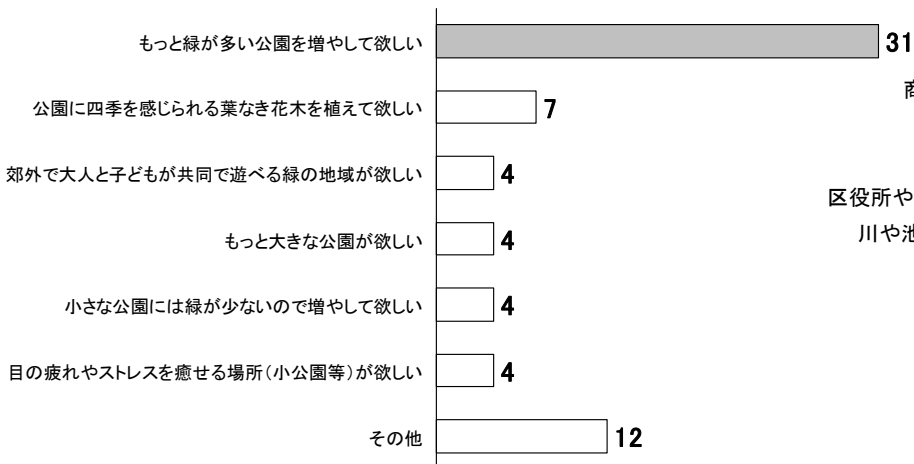
※1: 国営公園、県営公園、府営公園を含む都市公園及び港湾緑地
 ※2: 2005年3月31日現在、東京都については、2004年3月31日時点

資料: 事業分析 H18

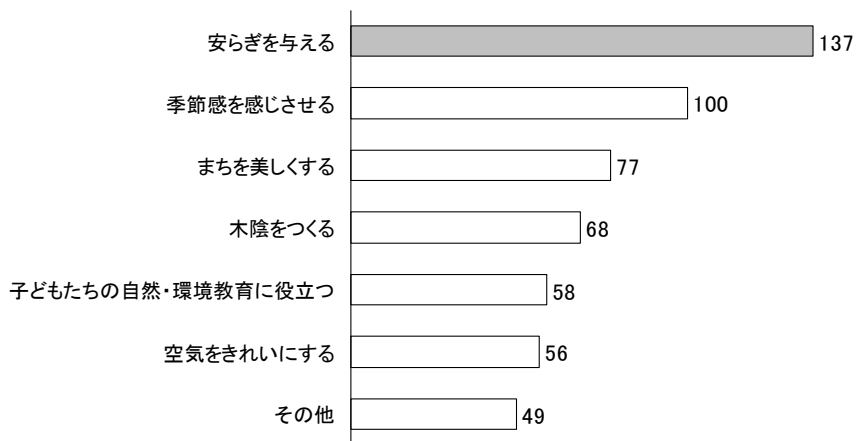
緑、公園に対する市民ニーズ

市民は緑が多い公園や安らぎ、季節感を感じさせる公園を望んでおり、また、街路樹や小さな公園の緑を増やして欲しいといったニーズも高い。さらに、緑のまちづくりに参加したいと思う市民は7割を超え、関心の高さがうかがえる。

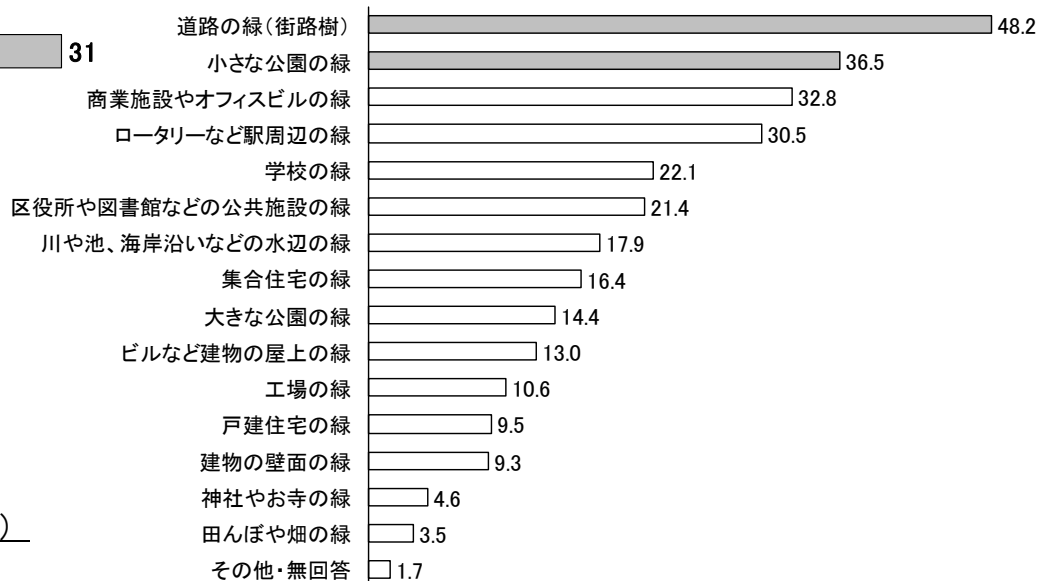
こんな公園が欲しい（単位：件、N=66）



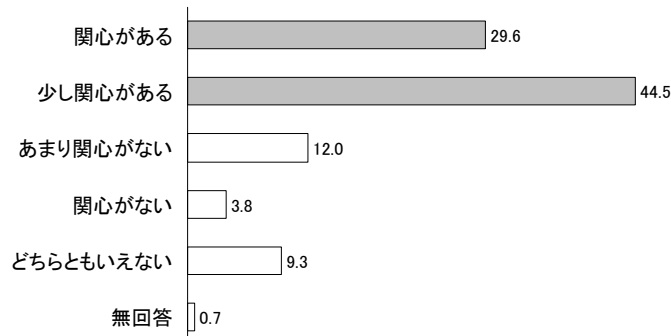
「小さな公園の緑」に望むこと（単位：件、N=545）



「欲しい緑」（単位：%、N=548、複数回答）



緑のまちづくりに関わる住民参加への関心度（単位：%、N=548）



事業計画(長期目標)

都市公園法施行令において、「一の市町村の区域内の都市公園の住民一人当たりの敷地面積の標準は10m²以上」と定められている。

また、大阪市では「緑の基本計画」に将来目標を定め、整備を進めている。

緑の将来目標

(1) 都市公園等の市民1人あたり面積……環境改善・防災・運動・休養・交流などの機能を
(国営公園、府営公園を含む都市公園面積および臨港緑地) 兼ね備えた都市公園等の整備目標

4.1m²/人 (H20.3末) → 7.0m²/人 (21世紀中葉)

(2) 樹木・樹林率………心理的効果や環境改善効果に着目した都市緑化の目標

6.9% (H18) → 約15% (21世紀中葉)

(市域に占める樹木・樹林等の枝葉で覆われた面積の割合)

(3) 自然面率………水面・草地などの持つ環境改善効果も含めた都市緑化の目標

29.3% (H18) → 約30% (21世紀中葉)

(市域に占める樹木・樹林、水面、草地などの面積の割合)

出典:大阪市緑の基本計画 H12 4月

重点的取り組み方針(短期目標)

緑の基本計画重点アクションプラン2(H18)

近年の社会経済環境の変化を踏まえ、時代の要請や市民のニーズへの的確に応えた緑に係わる多様な施策を展開するため、

(1)都市魅力の創出につながる花と緑のまちづくりの推進

(2)市民と協働した花と緑のまちづくりの推進

(3)都市公園等の活性化に向けた積極的かつ効率的な管理運営の推進

という3つの指針を設定し、平成18～20年度の重点的取り組みを取りまとめている。

(1)都市魅力の創出につながる花と緑のまちづくりの推進

①都市景観・活力を向上させる緑の整備

- ・水都再生に向けた緑の整備・・・都心を囲む水の回廊など水辺整備を推進
- ・集客魅力を創出する緑の整備・・・大規模公園等の整備、緑豊かな道路空間の創出

②都市居住を支える緑の整備

- ・身近な緑の整備・・・身近なレクリエーション活動や地域交流の場となる緑豊かな公園づくりを推進
- ・安全で安心な居住環境形成に向けた緑の整備
- ・ヒートアイランド対策など環境に配慮した緑の整備

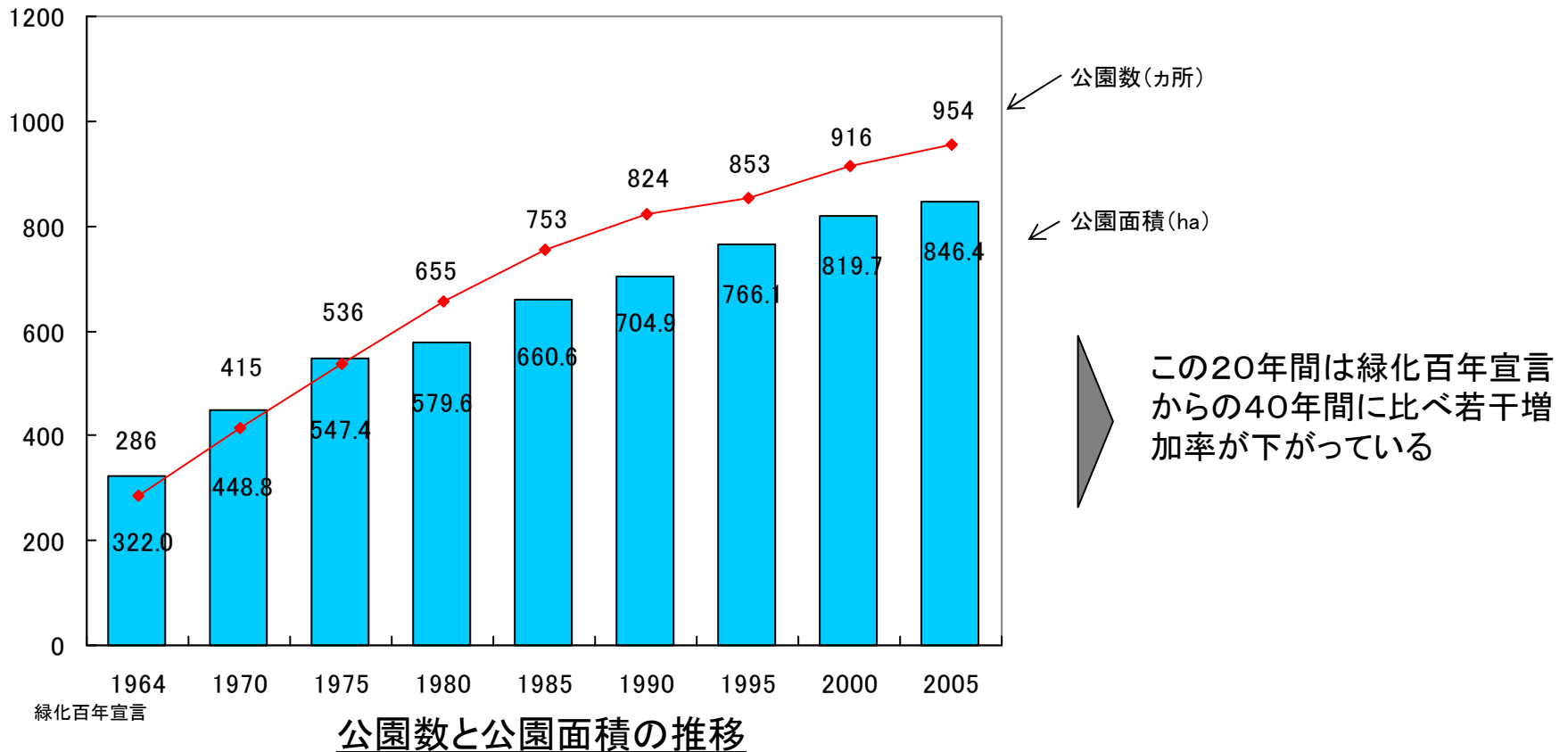
※ 毛馬桜之宮公園：(1)①水都再生に向けた緑の整備

鶴見緑地：(1)①集客魅力を創出する緑の整備

巽公園・阿倍野再開発2号公園・中之島西公園：(1)②身近な緑の整備に位置付けられる

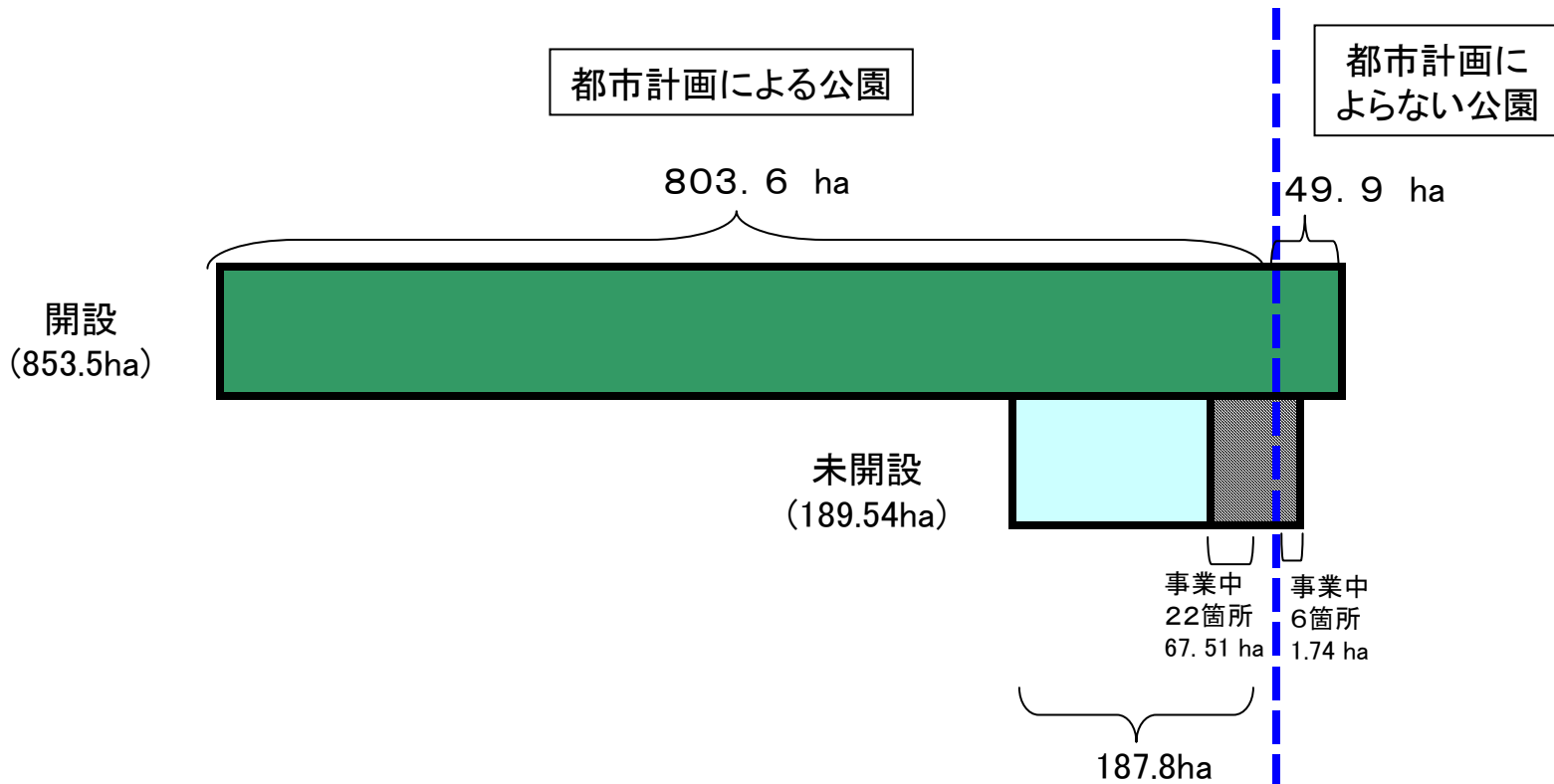
都市公園整備の推移

早くから積極的に都市公園の整備を進めた結果、緑化百年宣言が出された約40年前と比べ、公園数は約3.3倍、公園面積は約2.6倍に増加している。



都市公園の整備状況

現在、28箇所(69.25ha)で事業中であり、そのうち22箇所(67.51ha)が都市計画による公園、6箇所(1.74ha)が都市計画によらない公園である。



事業箇所

現在、28箇所の都市公園で事業中である。

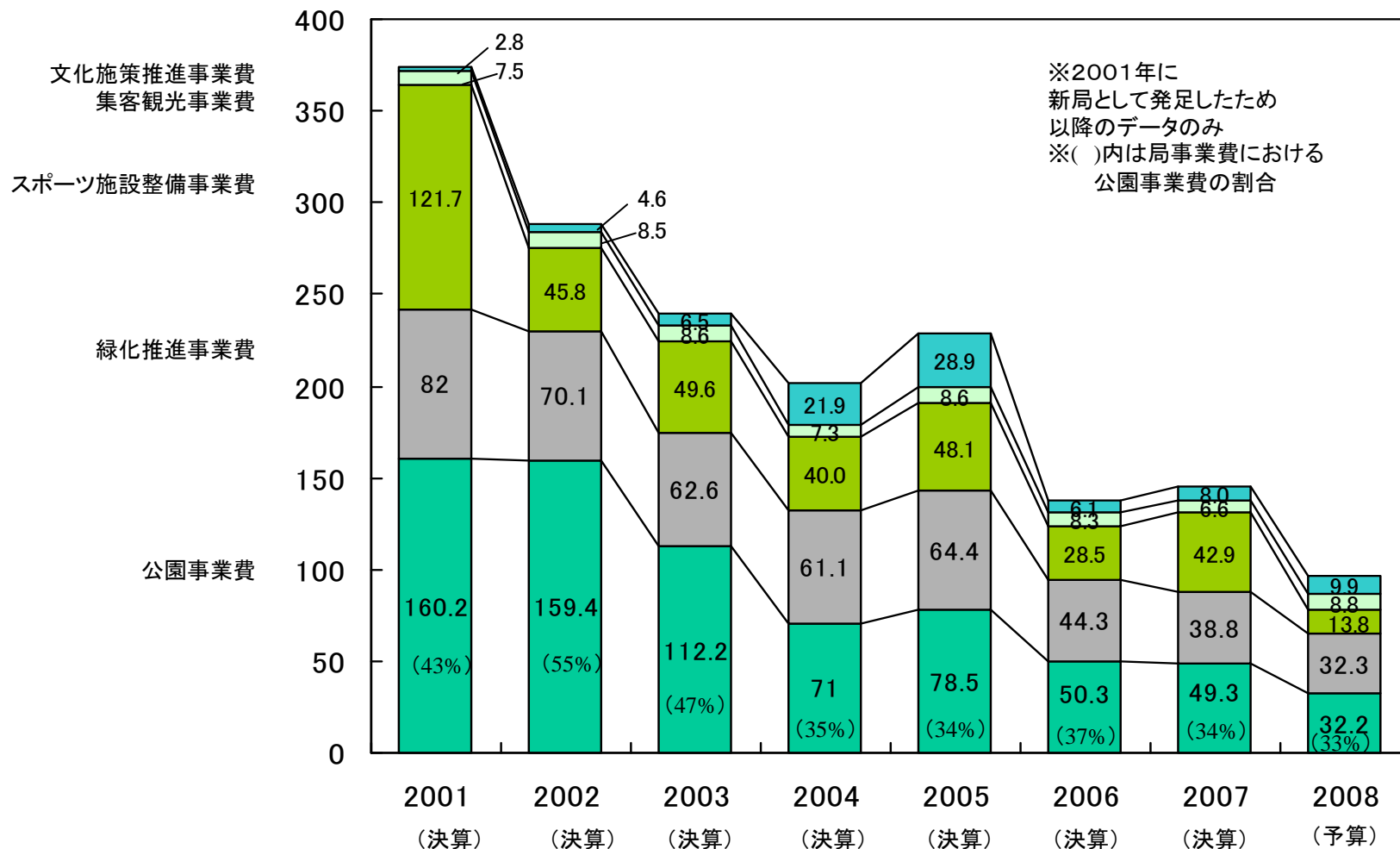
※2008年11月現在

	番号	種別	公園・緑地名	行政区	事業面積(ha)	未整備面積(ha)	着手年度	状況	残事業
都市計画による公園	1	街区	南生野	生野区	0.68	0.68	1998	全域	用地取得、教育用地管理替、施設整備
	2	街区	中之島西	北区	0.63	0.04	1978	全域	用地取得、施設整備
	3	街区	淡路2号	東淀川区	0.17	0.17	2005	全域	用地取得、施設整備
	4	街区	野田	福島区	0.12	0.12	2008	全域	有償管理替え・施設整備
	5	近隣	御幣島中央	西淀川区	2.30	2.30	1985	全域	施設整備
	6	近隣	南港東	住之江区	1.10	1.10	1985	全域	施設整備
	7	近隣	南加賀屋	住之江区	1.00	0.20	1993	全域	用地取得、施設整備
	8	近隣	阿倍野再開発2号	阿倍野区	1.10	0.80	2003	全域	施設整備
	9	近隣	長吉東部1号	平野区	1.00	1.00	1996	全域	用地取得、施設整備
	10	近隣	沢之町	住吉区	2.50	2.50	2006	全域	施設整備
	11	地区	高見	此花区・福島区	3.70	2.30	1987	全域	施設整備
	12	地区	津守中央	西成区	3.70	0.10	2000	全域	用地取得、施設整備
	13	地区	巽	生野区	2.50	1.20	1988	一部	用地取得、施設整備
	14	地区	泉尾	大正区	4.70	0.20	1973	全域	用地取得、施設整備
	15	地区	扇町	北区	7.40	0.40	1991	全域	施設整備
	16	総合	毛馬桜之宮	北区・都島区	40.40	9.40	1967	一部	用地取得、施設整備
	17	総合	百済	東住吉区	0.10	0.00	2007	一部	施設整備
	18	風致	中之島	北区・中央区	5.70	4.70	1980	一部	用地取得、施設整備
	19	風致	大和川	住之江区・住吉区・東住吉区	6.70	3.30	1992	一部	用地取得、施設整備
	20	歴史	大阪城	中央区	18.60	8.60	2004	一部	施設整備
	21	緑地	鶴見緑地	鶴見区・城東区・旭区	131.50	11.90	1966	一部	用地取得、施設整備
	22	緑地	正蓮寺川公園	福島区・此花区	16.50	16.50	2007	全域	施設整備
	小計			22箇所	252.10	67.51			
都市計画に よらない公園	23	街区	野中北1	淀川区	0.37	0.00	2005	全域	施設整備
	24	緑道	福島南緑道	福島区	0.90	0.70	2007	全域	施設整備
	25	街区	此花2号	此花区	0.48	0.48	2008	全域	施設整備
	26	街区	巽南5	生野区	0.24	0.24	2008	全域	施設整備
	27	街区	放出1号	城東区	0.13	0.13	2008	全域	施設整備
	28	緑道	川辺緑道	平野区	0.19	0.19	2008	全域	施設整備
	小計			6箇所	2.31	1.74			
	合計			28箇所	254.41	69.25			

事業費の推移

市の財政状況が厳しくなり、公園事業費の2008年度予算額は、01年度からの落ち込みが、局事業費が▲74.1%に対し、公園事業費は、▲79.9%にまで削減している。局としてスポーツセンター、温水プールの1区1館整備事業を優先して行っており、局全体としてシーリングを遵守した結果、公園事業費が強く圧縮された。

局の投資的・臨時的経費の推移(億円)



事業実施の方針

公園事業は、社会状況をふまえ、周辺の公園の整備状況や事業規模、地元ニーズ等を総合的に勘案し、事業が可能となったところから、順次事業実施を図っていく

当面は、新規の用地買収を必要としない、取得済用地などを活用して着実に整備を進めていく。

- ・現在事業中の公園・緑地
- ・取得済用地の整備
- ・施設の統廃合等により生まれた公共用地を活用した公園整備
- ・面的開発事業や本市のまちづくり施策と連携した公園整備

また、既設公園については、市民ニーズ・社会動向に対応した機能更新を推進する

- ・社会動向に対応しながら、本市のまちづくり施策と連携した大公園の再整備

水都再生のシンボルとなる中之島公園の再整備

集客魅力の創出に向けた大阪城公園の再整備など

今後の事業方針

当面は、新規には、事業中の公園および面的開発事業や本市のまちづくり施策と連携した公園整備等を中心に、既存公園は、市民ニーズ・社会動向に対応した機能更新を進めていく。今後、公園事業費の枠内で調整を図りながら、事業完了に向け、実施していく。

今後5年間で17箇所(未整備面積の約35%)が、事業完了する予定である。

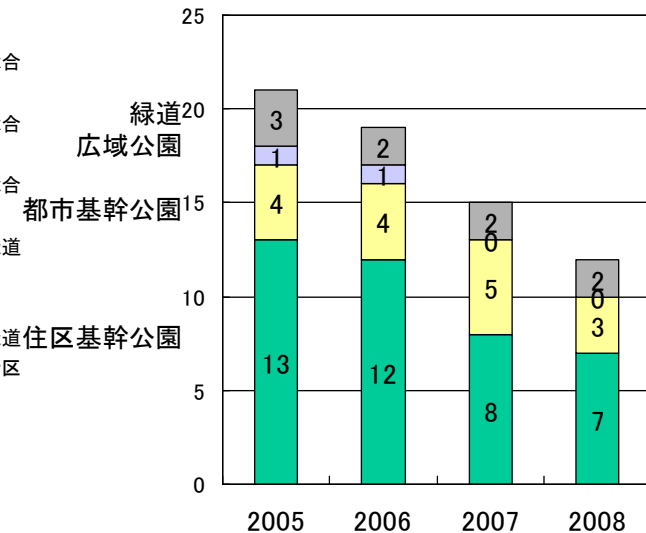
※2008年11月現在

番号	種別	公園・緑地名	着手年度	事業実施の方針に基づく位置づけ	事業完了
1	街区	南生野	1998	市のまちづくり施策と連携した整備	継続(完成年度未定)
2	街区	中之島西	1978	着実な整備	2012年度完了予定
3	街区	淡路2号	2005	市のまちづくり施策と連携、面的開発事業	継続(完成年度未定)
4	街区	野田	2008	公共用地を活用した公園整備	2009年度完了予定
5	近隣	御幣島中央	1985	すでに取得済用地の整備	2013年度完了予定
6	近隣	南港東	1985	すでに取得済用地の整備	継続(完成年度未定)
7	近隣	南加賀屋	1993	着実な整備	継続(完成年度未定)
8	近隣	阿倍野再開発2号	2003	市のまちづくり施策と連携した整備	2011年度完了予定
9	近隣	長吉東部1号	1996	面的開発事業に合わせた整備	2010年度完了予定
10	近隣	沢之町	2006	市のまちづくり施策と連携した整備	2009年度完了予定
11	地区	高見	1987	市のまちづくり施策と連携した整備	2011年度完了予定
12	地区	津守中央	2000	すでに取得済用地の整備	2010年度完了予定
13	地区	巽	1988	すでに取得済用地の整備	2017年度完了予定
14	地区	泉尾	1973	着実な整備	継続(完成年度未定)
15	地区	扇町	1991	すでに取得済用地の整備	継続(完成年度未定)
16	総合	毛馬桜之宮	1967	水都再生に向けた整備	2023年度完了予定
17	総合	百済	2007	すでに取得済用地の整備	2008年度完了
18	風致	中之島	1980	水都再生に向けた整備	2008年度概成予定
19	風致	大和川	1992	着実な整備	継続(完成年度未定)
20	歴史	大阪城	2004	集客魅力の創出に向けた整備	2011年度完了予定
21	緑地	鶴見緑地	1966	すでに取得済用地の整備	2022年度完了予定
22	緑地	正蓮寺川公園	2007	市のまちづくり施策と連携した整備	継続(完成年度未定)
小計			22箇所		
都市計画による公園					
都市計画に					
23	街区	野中北1	2005	すでに取得済用地の整備	2008年度完了
24	緑道	福島南緑道	2007	水都再生に向けた整備	2008年度完了予定
25	街区	此花2号	2008	面的開発事業に合わせた整備	2008年度完了予定
26	街区	巽南5	2008	公共用地を活用した公園整備	2008年度完了予定
27	街区	放出1号	2008	面的開発事業に合わせた整備	2008年度完了予定
28	緑道	川辺緑道	2008	公共用地を活用した公園整備	2008年度完了予定
小計			6箇所		
合計			28箇所		

2008年度国庫補助事業採択公園・緑地数

住区基幹公園	街区公園	3
	近隣公園	2
都市基幹公園	地区公園	2
	総合公園	3
緩衝緑地等	緑道	2
合計		12

国庫補助事業採択公園・緑地数の推移



※2008年度国庫補助事業採択公園・緑地及びその区分等

局経営方針における公園事業について

経営課題4 (目標) 花と緑あふれるまちづくり

戦略4-1 都市魅力の創出につながる花と緑のまちづくりの推進

(達成目標) 都市公園面積を平成20年度から平成22年度までに7ha増加させる。

取組 4-1-1 都市景観・活力を向上させる花と緑のまちづくりの推進

- ・水都再生に向けた緑の整備
毛馬桜之宮公園の整備 (業績目標) 平成20年度蕪村公園エリア完成予定
- ・集客魅力を創出する緑の整備

取組4-1-2 都市居住を支える花と緑のまちづくりの推進

- ・身近な緑の整備
- ・安心で安全な居住環境の形成に向けた緑の整備

今後の事業費シミュレーション

局長改革マニフェストでは「5年間で、特別会計繰出金等を除いた投資的経費(公共事業費等)を▲25%圧縮、公債発行水準を▲47%削減する」としている。

現状で、投資的経費が2005年度から全体で▲58%削減、公債発行水準も▲72%削減し、目標を達成していることから、今後公園事業費は今年度の水準を確保できるよう努めていく。

